

**2018年8月期**  
**決算説明会**

**2018年10月29日**

# 目次

連結決算の概要 .....	3
2019年8月期見通し .....	9
参考資料 .....	18

# 連結決算の概要

# 連結子会社の決算期変更

- 連結子会社株式会社三和テスコおよび東洋精機産業株式会社は、決算期の変更により、決算期が毎年 8 月末日となります。親会社である当社と決算期を合わせることで、より効率的な連結事業運営を図ることを目的としております。

# 主要な経営指標等

	2017年8月期 通期実績	2018年8月期 通期実績
売上高（千円）	4,942,360	5,730,807
経常利益又は経常損失（千円）	183,342	159,641
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	143,873	128,740
純資産額（千円）	882,123	1,271,994
総資産額（千円）	7,127,790	7,273,676
1株当たり当期純利益金額	105.20	76.02
自己資本比率（%）	12.4	17.5
営業活動によるキャッシュ・フロー（千円）	388,977	240,859
投資活動によるキャッシュ・フロー（千円）	△27,227	△344,112
財務活動によるキャッシュ・フロー（千円）	△320,777	△3,318
現金及び現金同等物の期末残高（千円）	1,155,670	1,048,576

※当社は、平成29年9月29日付で普通株式1株につき400株の株式分割を行っておりますが、2017年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

# 連結損益計算書 (P/L)

単位：千円

	2017年8月期 通期実績	2018年8月期 通期実績	前年 同期比 (%)
売上高	4,942,360	5,730,807	116.0
売上総利益	972,618	1,095,766	112.7
販売管理費	843,111	898,361	106.6
営業利益	129,507	197,404	152.4
経常利益又は経常損失	183,342	159,641	87.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	143,873	128,740	89.5

2018年8月期 通期連結 業績予想	達成率 (%)
5,399,000	106.1
—	—
—	—
202,000	97.7
172,000	92.8
108,000	119.2

# セグメント別損益状況

単位：千円

売上高	2017年8月期 通期実績	2018年8月期 通期実績	前年 同期比 (%)
環境・エネルギー事業	2,580,703	2,559,177	99.2
動力・重機等事業	1,613,648	2,016,098	124.9
防災・安全事業	748,008	1,155,531	154.5
合計	4,942,360	5,730,807	116.0

セグメント利益又は損失	2017年8月期 通期実績	2018年8月期 通期実績	前年 同期比 (%)
環境・エネルギー事業	120,018	117,974	98.3
動力・重機等事業	56,006	89,657	160.1
防災・安全事業	52,128	96,068	184.3
合計	228,153	303,700	133.1

# 連結貸借対照表 (B/S)

単位：千円

		2017年8月期 通期実績	2018年8月期 通期実績	前年 同期比 (%)
資産 の 部	流動資産	3,643,309	3,708,031	101.8
	固定資産	3,484,481	3,565,644	102.3
	うち有形固定資産	2,627,065	2,834,346	107.9
資産合計		7,127,790	7,273,676	102.0
負債 の 部	流動負債	2,731,726	3,184,428	116.6
	固定負債	3,513,941	2,817,253	80.2
	負債合計	6,245,667	6,001,681	96.1
純 資 産 の 部	資本金	294,750	460,758	156.3
	資本剰余金及び利益剰余金	630,927	857,296	135.9
	株主資本合計	925,677	1,318,055	142.4
	その他有価証券評価差額金	△43,554	△46,060	—
	純資産合計	882,123	1,271,994	144.2
負債純資産合計		7,127,790	7,273,676	102.0



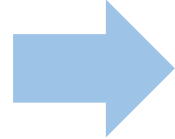
# 2019年8月期見通し

# 経営課題

1

## 外注・購買製造コスト売上高比 2%削減

- ・原価管理体制の見直し
- ・材料・外注発注体制の見直し

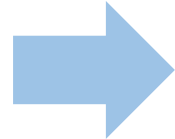


価格交渉の積極化  
代替仕入先の発掘

2

## 製造ロス 50%の削減

- ・責任体制の明確化
- ・信賞必罰な評価制度を確立
- ・作業・技術者の教育

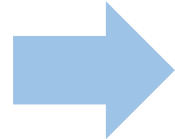


実施フローを制度化  
実効性を高める

3

## 成長戦略商品の拡販と利益率の上昇

- ・顧客ターゲットに向けた効果的なマーケティングを実施

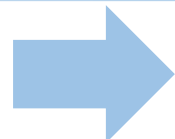


電力・エネルギー関連会社、  
地方自治体への営業展開

4

## M&Aによる企業価値増大

- ・積極的な企業への投資



技術力の確保・付加価値の強化  
シナジー効果の発揮

# 2019年8月期業績見通し

単位：千円

	2018年8月期 通期実績	2019年8月期 第2四半期 業績予想	2019年8月期 通期業績予想	前年 同期比 (%)
売上高	5,730,807	2,758,000	5,782,000	100.9
営業利益	197,404	53,000	281,000	142.3
経常利益	159,641	43,000	264,000	165.4
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	128,740	27,000	170,000	132.0
1株当たり当期（四半期）純利益	76円02銭	14円72銭	90円59銭	—
1株当たり配当金	50円00銭	0円00銭	50円00銭	—

(注) 1. 当社は、2017年11月28日に東京証券取引所 J A S D A Q（スタンダード）に上場したため、2018年8月期実績の1株当たり当期純利益は、新規上場日から2018年8月期連結会計年度末までの期中平均発行済株式数により算出しております。また、2019年8月期業績予想及び2019年8月期第2四半期業績予想の1株当たり当期（四半期）純利益は、2018年8月期末発行済株式数により算出しております。

2. 2018年8月期実績の配当は、2018年11月下旬開催予定の第30期定時株主総会での決議を条件と致します。

# セグメント別計画

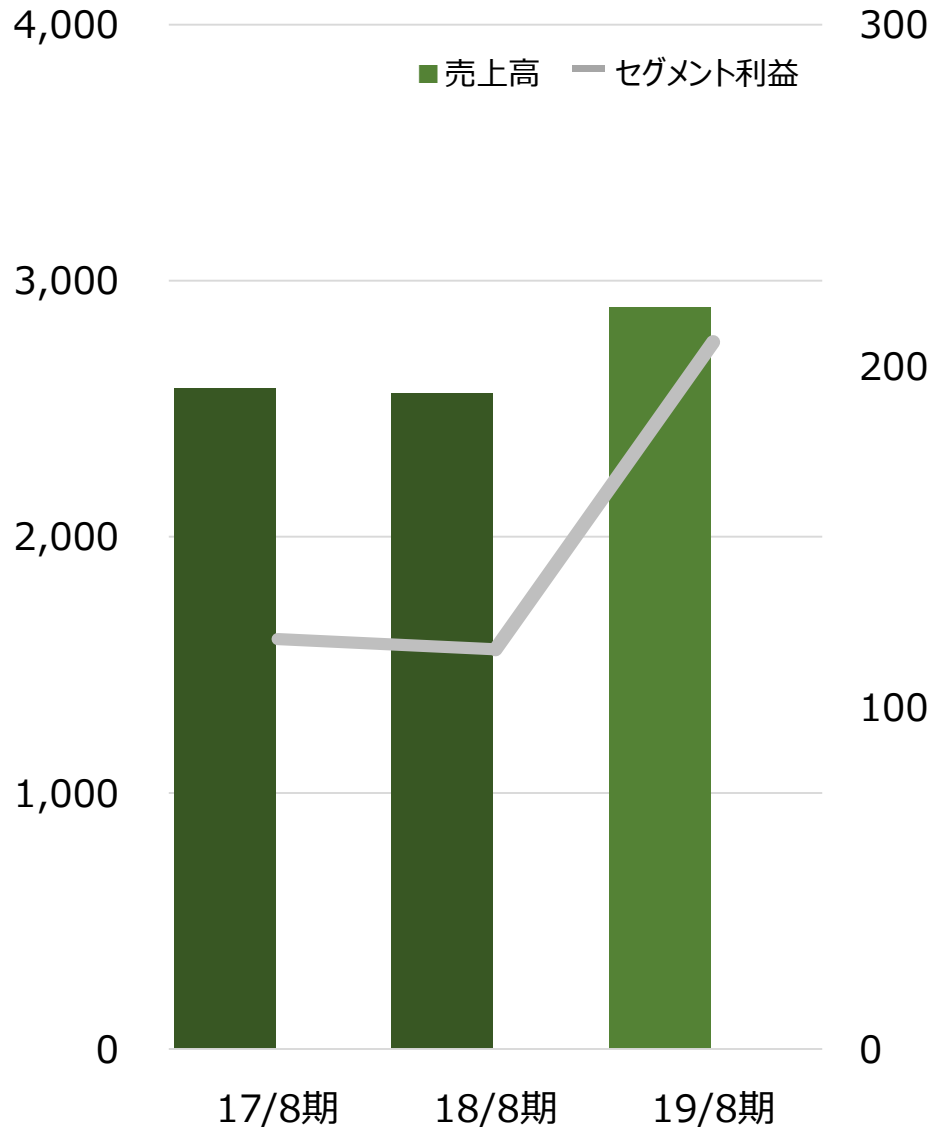
単位：千円

売上高	2018年8月期 通期実績	2019年8月期 通期業績予想	前年 同期比 (%)
環境・エネルギー事業	2,559,177	2,897,000	113.2
動力・重機等事業	2,016,098	1,913,000	94.9
防災・安全事業	1,155,531	970,000	83.9
合計	5,730,807	5,782,000	100.9

セグメント利益又は損失	2018年8月期 通期実績	2019年8月期 通期業績予想	前年 同期比 (%)
環境・エネルギー事業	117,974	207,000	175.5
動力・重機等事業	89,657	115,000	128.3
防災・安全事業	96,068	68,000	70.8
合計	303,700	390,000	128.4

# 環境・エネルギー事業

単位：百万  
4,000



## ■ ポンプ等水処理機器

営業人員体制と技術サービス力の強化

北海道地区へ営業展開拡大

2,300億円の水処理機器市場※のもと、安定需要を見込む

## ■ プレート&シェル熱交換器

大手エネルギー会社、電力会社をターゲットに営業展開

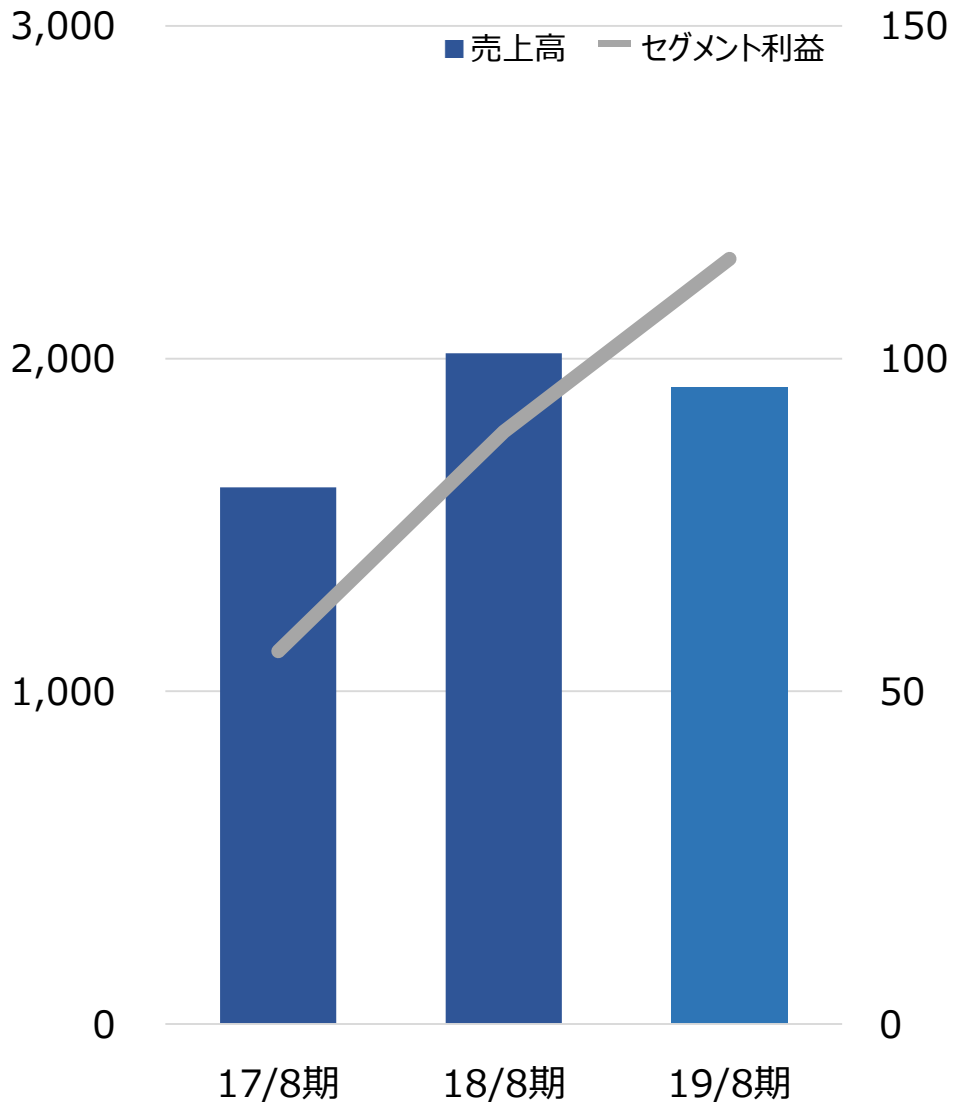
## ■ 景観配慮型防潮壁「SEAWALL」

2018年7月豪雨による河川の氾濫被害が増大し、港湾のみならず河川の堤防嵩上げ用として採用される。納期末確定のため、2019年8月期の計画には組み入れていない。受注計画が進めば、上乗せ材料となる。

※「平成29年経済産業省生産動態統計年報 機械統計編」参照

# 動力・重機等事業

単位：百万



## ■ 材料費・外注費の徹底した削減

各社の目標削減率を設定  
毎月次での進捗管理体制を強化

## ■ 原価管理体制の見直し

プロフェッショナルな人材の獲得  
原価管理責任者として配置

## ■ 価格交渉、代替仕入先の確保

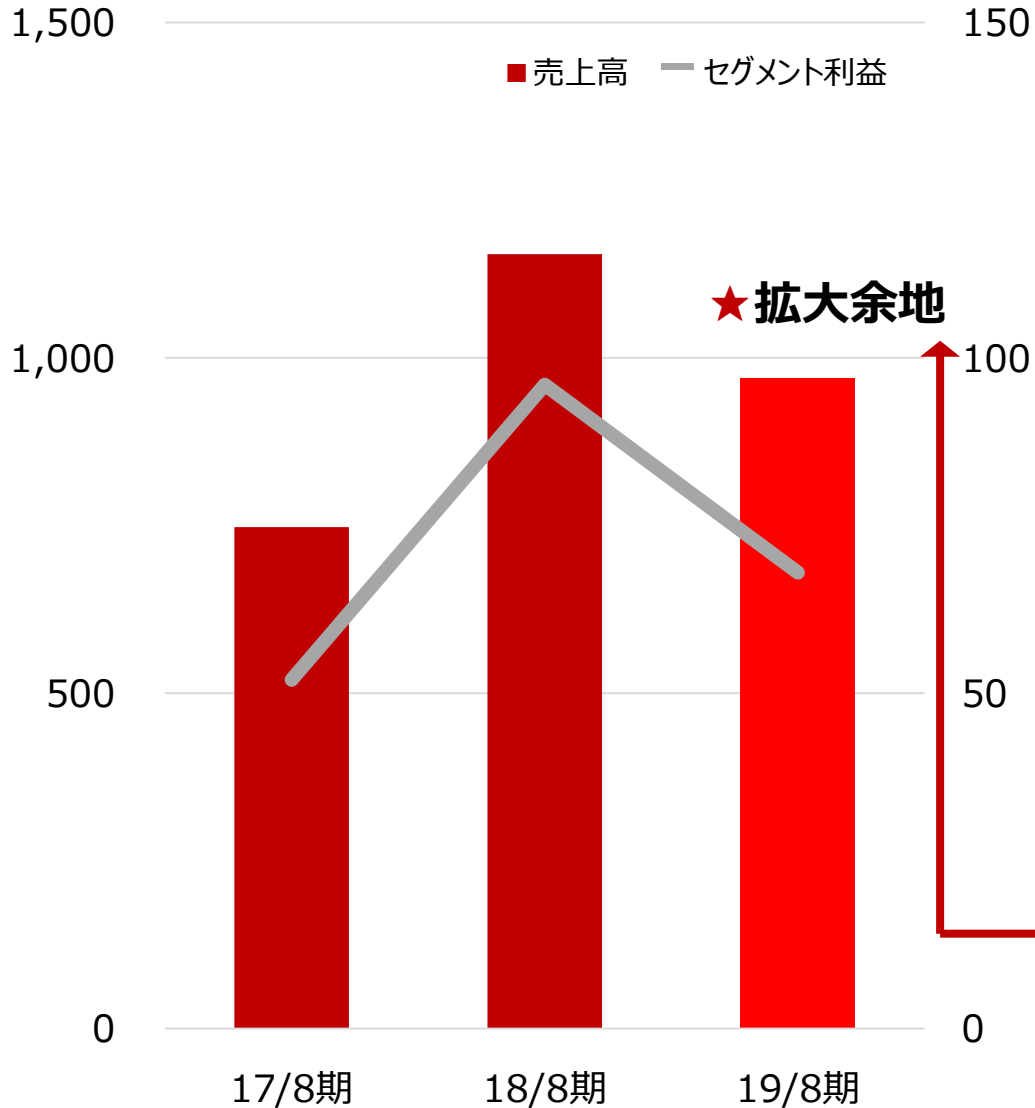
価格交渉進行中、年内完了予定

## ■ 連結子会社決算期変更

18/8期14ヶ月決算に対し19/8期12ヶ月決算のため、売上高は前期比5.1%減で計画  
なお、受注状況は前期より好調に推移

# 防災・安全事業

単位：百万



- 自社商品の拡販と利益率の向上  
電気不要のスプリンクラー消火装置「ナィアス」の大手企業等での採用実績  
コスト・性能での有利さを打ち出した営業活動を展開
- 効果的なマーケティングを実施  
エネルギー市場・生産施設・水素ガスステーションへの営業活動
- ナィアスの売上計画を保守的に見積り  
補助金額が予測困難、引合い状況がやや減少  
18/8期776百万円に対し、19/8期660百万円を計画
- ナィアス潜在的拡大余地あり  
水素ガスステーション向け案件における受注増加  
新規導入検討先の増加傾向

# M&Aによる企業価値増大

## 社会インフラを支える水と空気のプロフェッショナル集団 技術を見つけ、育て、活かす

### 成長戦略

- M&Aで技術を「見つけ」、当社内で「育て」、企業価値へと「活かす」
- ポンプの安定収益で収益性の高い自社商品の事業化を進めていく

### 効果

- 単なる利益の合計だけでなく、大きな付加価値を生み出す
- 会社・事業同士の連携や一体化により、売上増進やコスト削減を図る
- 技術力の強化

### 社会貢献

- 後継者不在型M&Aを推進
  - 全国的に経営者の高齢化や後継者不足が問題
  - 中長期的な事業の存続困難に直面している企業からの事業の引継を図る
- 地域経済の活性化
  - 雇用継続、既存従業員の維持
- 取引先・金融機関との関係継続

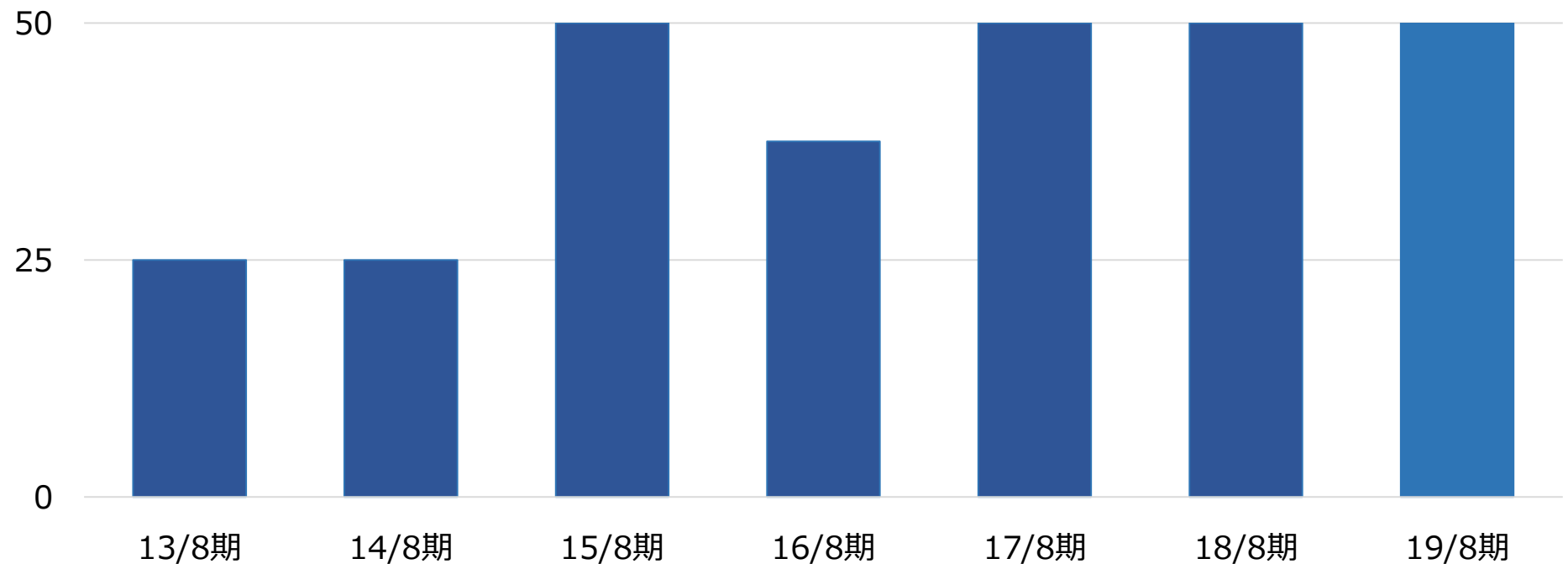


# 株主還元

## 基本方針

- 将来の事業展開に必要な内部留保を見据えた株主還元
- 業績を踏まえた安定した配当を継続して実施
- 年1回の期末配当として剰余金の配当を行う

## 配当金推移



(注) 1. 当社は、2017年9月29日付で普通株式1株につき400株の株式分割を行っておりますが、2013年の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算出しております。

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定、を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

# 參考資料

# 会社概要

## 社会インフラを支える水と空気のプロフェッショナル集団

社 名

ポエック株式会社 Puequ Co., LTD.

上場証券取引所

東京証券取引所 JASDAQ市場（証券コード：9264）

設 立

1989年1月25日

本 社

〒721-0973 広島県福山市南蔵王町2-1-12

代 表 者

代表取締役社長 来山（きたやま） 哲二

代表取締役副社長 采女（うねめ） 信二郎

資 本 金

460,758千円（2018年8月現在）

従 業 員 数

73名/連結184名（2018年8月現在）

事 業 所

仙台・北陸・東京・名古屋・大阪・岡山・広島・福山・松山・高松・福岡

連 結 子 会 社

株式会社三和テスコ（香川県高松市）

東洋精機産業株式会社（岡山県岡山市）

# 事業内容

## 「環境・エネルギー事業が売上の4割」を占める

### 環境・エネルギー事業

環境・水処理機器の販売  
修理・メンテナンス



ポンプ



熱交換器



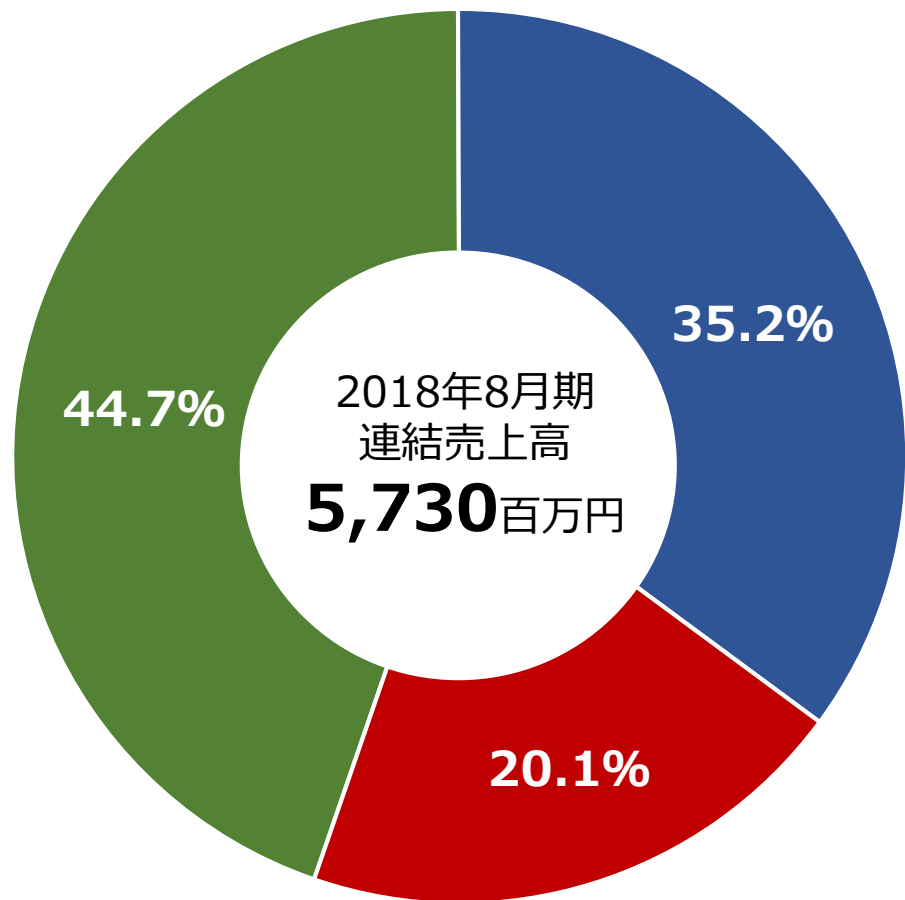
水中攪拌機



汚水槽



オゾン装置



### 動力・重機事業

プラント設備



ボイラー・圧力容器等

大型船舶エンジン台版



エンジン台版

機械加工部品



小型精密部品

### 防災・安全事業

消防機器販売・設置工事



電気不要の  
スプリンクラー消火装置  
「ナイアス」



スプリンクラー



高温・高圧仕様にも対応する

「プレート&シェル熱交換器」

独自の構造で、高効率&コンパクトな性能を実現

- フィンランドのバーテルス社よりプレート&シェル熱交換器の国内独占製造販売権を取得
- 化学、製薬、食品などの各種プラントから、冷凍設備、船舶設備など、幅広い業界から高い評価

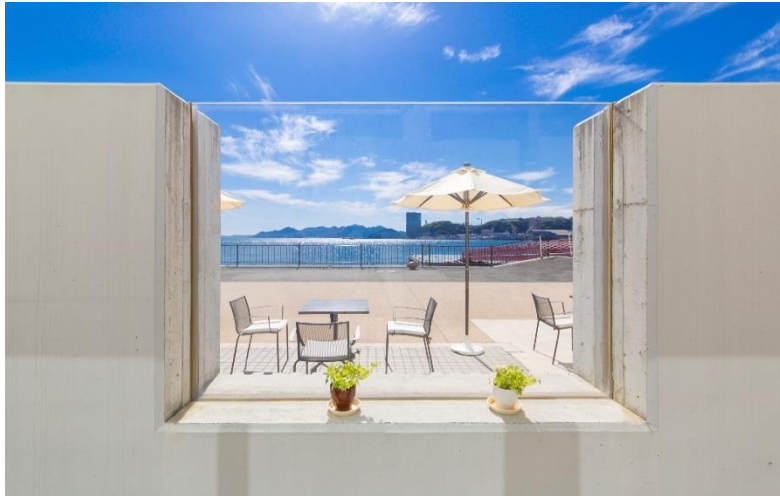
三和テスコの技術で従来製品の**1/5に小型化**

精度の高い温度管理  
が可能

建屋の建築費の削減  
が可能

他社より大幅に安い  
価格を実現

# 戦略商品 防潮堤



景観を守る、命を守る

**SEAWALL®**

見える防潮壁

**美しさと安全の共存**

**防潮壁用枠付透明窓「シーウォール」**

**美しい景観と  
安全性の両立**

高い壁の防潮堤は  
閉塞感があり、景  
色が見えない。

**クリアに見える  
防潮堤**

高い透明度を持つアクリル。非常時には海の様子や逃げ遅れた人の有無を伝えることが可能。

**優れた耐候性・  
耐久性  
衝撃に強い**

F15戦闘機のキャノピーや大型水族館の水槽にも使われるアクリルの高い透明性と耐衝撃性。

**メンテナンスが  
容易な構造**

汎用工具で分解できる。容易にアクリル板の交換が可能。



## 電気不要のスプリンクラー消火装置「ナイアス」 世界初の圧力水槽方式の加圧送水装置

- 2003年 ニュービジネス大賞受賞
- 2009年 (一財) 日本消防安全センター認定品
- **南極・昭和基地にも10基導入**

### 電源・水道 工事不要

窒素ガスの圧力で放水。災害時に水道や電気がストップしても確実に作動。

### 20分間 放水可能

火災発生から消防車が到着するまでの間に十分な放水が可能。

### 水槽内の水は非常 用にも使用可能

水槽内の水は窒素ガスで封印。水が腐敗せず、震災・災害時には非常用水として使用可能。



南極・昭和基地に導入された「ナイアス」



# 技術力の確保 M&A

## M&Aで事業規模の拡大と収益源の多様化を実現

### 環境・エネルギー事業

1989 ポンプの販売・メンテナンス事業を開始

1997 山尾産業（株）水処理部門営業権譲受

2002 オーゼットから営業権、製造権、特許権を譲り受け、オゾン脱臭装置の販売を開始

2009 オガタ工業買収  
攪拌機製造技術を取得

2007 「フィンランド熱交換器」  
独占製造販売権取得

2011 セイブン買収

### 防災・安全事業

1997 「ナイアス」販売開始

2009 「ナイアス」が  
（一財）日本消防設備安全  
センターの評定品となる

### 動力・重機事業

**2003溶接技術を持つ（株）三和テスコを買収**

**2008 精密機械加工・熱処理技術を持つ東洋精機産業（株）を買収**

# 技術力の確保 M&A

## ポンプの安定収益で収益性の高い自社商品の事業化を進める

